

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		入間市元気キッズ	公表日 令和7年3月31日			
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環 境 ・ 体 制 整 備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	0	・ 児が安全に活動に取り組むことができるよう、活動計画を元に、その日の人数や様子によって環境設定を行う。 ・ 安全に活動ができる様、活動に応じてスペース作りを行った。	・ 基準を順守しつつ活動内容に工夫をこらしていきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	2	・ 人数が確保できるなら人がもう少し欲しい場合がある。 ・ 朝礼で、どの時間に、どこで何人の職員が必要であるかを必ず確認することで、定員数のみを基準にせずに安全を考え配置している。 ・ 登園人数により人員数を調整したり、職員が足りていない時は他クラスの職員が入り、調整している。 ・ 朝礼の際に、全クラスで足りない時間帯を共有し、ヘルプ等で調整を行った。 ・ 基準は満たしているが、現状手が足りないと感じる。（こどもが抱っこやおんぶを求める割合が非常に多いため） ・ 現時点、欠員が生じていることに加えて、クラスによって足りていないと、安全管理や職員の負荷によるストレスマネジメントの視点から感じる。	・ 児童発達支援センターの基準（児童4人：職員1名）を確保しつつ、クラス間や全職員で情報共有できるよう活動の流れを見直します。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	0	・ 環境設定、視覚支援をクラスや児に応じ行うことで。 ・ 活動に合わせてパーテーションを利用し、集中できる環境、視覚支援で「目で見てわかる」環境を作っている。 ・ 視覚支援、環境設定を行い安全に過ごせる様、工夫している。 ・ パーテーションや視覚支援等於いて構造化している。	・ 必要性に応じて柔軟に環境整備を行います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	0	・ 活動後の掃除、クラスに適した間隔で消毒を実施している。 ・ 活動後に掃除、消毒を実施している。 ・ 床、テーブル、イス等毎日清掃を行っている。 ・ 毎日の清掃と週1回の消毒を行っている。	・ 感染症対策も含め、引き続き安全で清潔な環境を維持するように努めます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	0	・ 必要に応じ職員が個別に対応しながらパーテーション等を使用し、個別の場所を設定している。 ・ 必要に応じてパーテーションで個別空間を設置している。 ・ パーテーション等を使用しながら、安全安心に過ごせるような環境設定を行っている。 ・ 場所は作ることができるが、部屋は難しい。	
業 務 改 善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	11	0	・ より効率よく業務を行うために、T o D o リストを活用することが浸透している。 ・ 効率を考えた業務の進め方を意識し、改善に務めている。	・ 効率的に業務を進め、職員全体がPDCAサイクルに参画できるように努めます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	・ 評価結果、改善点の周知をし、内容によって、早急に話し合い、改善に繋げている。 ・ 朝礼、終礼を利用し、結果報告や改善策を共有している。	・ 評価を毎年実施し、結果を公表することで、業務の改善に努めます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	・ 職員（代表）の会議、クラス会議等、また日々の報連相に於いて上げられた内容について話し合い、改善に繋げている。 ・ 報連相会議で各クラスの代表者と児発管が集まり、意見等話し合う場を設けている。（月1回） ・ 内容による	

	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	4	・ 不明	・ 第三者評価の実施については今後検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	0	・ 長期休みの社内研修の中で、ビデオフィードバックを行い、助言を得る。又、専門性のスキルアップを行う等、充実した研修期間が設けられている。 ・ 定期的に研修期間を設けており、専門研修、虐待研修など様々な社内研修をしている。 ・ すごく丁寧にやっていると思います。 ・ 長期休みにて研修を行っている。 ・ 長期休みには、療育中のビデオを撮り、社長から助言をいただいている。	・ 引き続き定期的な研修を実施し、職員全体の資質向上に努めます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	11	0	・ アセスメントチェック表に合わせ行っている。 ・ アセメントチェック表、記録、相談記録をもとに作成し、クラス担任と児発管で支援検討している。	・ 引き続きアセスメントや課題分析の研修や指導に努めます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	0	・ 支援計画を作成するにあたり、クラス担任間での共通した意見・見解を持ち、児一人一人について、会議で綿密に話し合いを行い検討している。 ・ 支援検討会議実施 ・ 支援計画の内容をみやすくすることで直接関わりやすくしている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	0	・ 日々の活動で、児の支援目標が適切に実施されているかを確認できるよう担任が見やすい所に掲示し、共有している。 ・ 活動前に児の支援計画内容をチェックしたり、活動計画書（日案）にも記してシュミレーションしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	0	・ 年に一回、キッズスケールを実施（終結児は2回） ・ 児の発達やその時の状況に合わせ、行動観察や保護者様への聞き取り等を行っている。 ・ E S D Mチェックリスト、k i d z スケール、福山特別支援学校のアセスメントツールを使用	・ 子どもの状況に合わせ適切なアセスメントツールを使用しています。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	0	・ 本人支援では、5領域に基づき一人一人に適した内容を検討し、立案している。 ・ 家族支援に関しては、送迎時や連絡帳、療育記録を通し、報連相、情報共有を行っている。	・ 年度初めに、全職員にて児童発達支援ガイドラインの読み合わせを実施し、支援計画に入れるべき「発達支援」「家族支援」「地域支援」を確認しています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	0	・ 児の発達、曜日や年齢、興味関心に合わせ立案している。シュミレーションを必ず行う。 ・ 研修期間を利用して、各クラスで月案、日案等作成している。 ・ クラスで話し合い、季節のあそび等を取り入れている。 ・ 担任間で共有し、検討している。シュミレーションも行いながら検討している。 ・ 担任間での情報共有をしながら行っている。	・ 引き続き職員間で共有を図りながら、計画立案に取り組んで参ります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	0	・ 児の発達や状態に合わせ、計画や変更、改善を行いながら進めている。 ・ 活動計画書の内容に対し、展開したパターンの計画書を増産している。 ・ 登園人数や子どもの興味等を取り入れ、固定化しないようにしている。 ・ 児の興味等に合わせた活動を提供していけるよう、提供のやり方や展開をしている。 ・ 月案を作成することにより工夫している。	・ 常に活動プログラムの反省・評価を通じ固定化しないよう努めます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10	1	・ 児の発達に合わせ、毎回個別課題を設定している。集団活動に於いても、其々の理解や意欲に合わせ、必要に応じ個別に対応している。 ・ どちらか	・ 個別活動も集団活動も、子どもの状況に応じた適切な活動計画を作成します。

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	0	<ul style="list-style-type: none"> ・安全面を重視し、時間の配分や環境設定、職員の配置等、最終的な確認を行っている。 ・活動計画にリーダー、サブの動きを記して役割分担を確認している。 ・前日や当日の朝、活動の内容や動きの確認を行っている。 ・登園する児の情報共有をしたり、流れや気をつけることを確認し合っている。 ・登園する児に合わせた動きをするため、毎朝確認している。 ・ヘルプは打ち合わせできない時もある。 	・引き続き打ち合わせの時間を確保するよう努めます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	0	<ul style="list-style-type: none"> ・片付け、翌日の準備等を同時進行で、その日の活動の反省、打ち合わせを行い、改善策は次へ活かせる様、活動計画書をブラッシュアップし活用した。 ・振り返りや打ち合わせを行う。記録の共有事項にて情報共有を行っている。 ・管理者への報告、相談、アドバイスをもらっている。 ・記録を取りながら、自分の担当した児以外の情報を共有したり、気づいたことを共有している。 ・その日の改善点を共有し、次の支援に工夫をしています。 ・その日にできない時もある。2、3日後とか。 	・引き続き打ち合わせの時間を確保するよう努めます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	0	<ul style="list-style-type: none"> ・療育記録に残し、担任間で共有して、改善や計画につなげている。 ・登園した児の療育記録を実施 ・活動後やセッション後、報告を行い、適時次回への改善点があれば実行している。 	・引き続き支援の改善につながる記録作成に努めます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	0	<ul style="list-style-type: none"> ・半年に1回実施 	・児童発達支援管理責任者を中心にモニタリングを実施します。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	0	<ul style="list-style-type: none"> ・児のクラス担任と児発管が参加している。 	・相談支援事業所が開催する支援会議に積極的に参加します。
関係機関や保護者との連携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	0		・地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携し、情報交換を行います。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	0	<ul style="list-style-type: none"> ・併用先に見学に行ったり、来てもらったりし、情報共有を行っている。電話でのやりとりで相互に子どもの状況を把握している。 	・必要に応じ、書面や話し合い等で情報共有していきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	0		・必要に応じ、書面や話し合い等で情報共有していきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	11	0		・国立障害者リハビリテーションセンター学院と連携し、専門的な助言や指導を受けています。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	11	0		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	11	0		・参加要請に応じて出席しています。
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8	3	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症や子ども達の特性を考慮して行わないのだと思います。 ・元気キッズで連れていく、受け入れるということはないが、併用先にて地域のこどもと活動している。 	・今後の感染状況とお子さんの発達状況を見定めて交流を検討します。。

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	11	0	<div>・送迎時、その日の健康状態や家庭、併用先での様子等、情報共有し、又、当日の様子をお話している。</div> <div>・登園時や迎えの際に、児の様子、課題等を伺っている。</div>	・引き続き保護者との意思疎通を図ります。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11	0	・P E C Sのペアトレを実施している。	・親子通所クラスでは保護者への支援も行っています。プログラムの実施の必要性について今後検討します。
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0		・引き続き丁寧な説明に努めます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0		・計画への同意は必ず前保護者から得ています。引き続き丁寧な説明に努めます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	11	0		・計画への同意は必ず前保護者から得ています。引き続き丁寧な説明に努めます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	0	<div>・児発管への報連相と情報共有から、適切にご助言できるようにし、又、必要に応じ、療法師に相談し助言を求めている。</div> <div>・児発管に相談したり、データベースを確認し、根拠を持って改善策の提示をし対応した。</div> <div>・フィードバック時や電話、面談などにおいて相談に応じ、児発管に助言を求めながら支援を行っている。</div>	・保護者からの相談には随時対応し、必要に応じ専門職（心理・PT・OT・ST）の助言も求めます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	2		・引き続き活動への支援を実施して参ります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0	・児発管に相談したり、当社の療育データベースを元に根拠を持って説明や対応を行っている。	・保護者の皆様からの申し入れや相談に対しては、担当者と責任者を定めて対応します。内容につきましては、即時対応することが難しい場合がありますが、誠意をもって改善に努めて参ります。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	1		・引き続き取り組んで参ります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0	<div>・鍵付きのロッカーなどにしまうようにし、取り扱いに留意している。</div> <div>・氏名は、ふせ字を徹底している。</div>	・引き続き配慮していきます。
非 常 時 等	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0	<div>・視覚支援を用いて、其々の家庭や児に合った情報伝達を行うよう留意した。</div> <div>・その人の状況に寄り添いながら情報伝達を行っている。</div> <div>・視覚支援等を用いて情報伝達を行った。</div>	・特性に合わせた意思疎通の支援をしています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	5		・高い専門性の観点から、地域住民を招待する等の事業は行っていません。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	0		・職員間での共通認識のもと、特性に配慮した訓練を実施します。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	0		・設置基準の規定に基づき、月1回程度の訓練を予定しています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11	0		・引き続き看護師を中心に適切な対応に努めます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	0	<div>・医師の指示書はないが、アレルギーのある児が口にしないよう、他児のおやつを食べることがないように気をつけている。</div> <div>・指示書はケースにより、あったりなかったり。</div>	・必要に応じて対応を検討します。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	0		

こ の 対 応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	0	・朝礼や終礼で周知し、改善案を共有している。 ・報告書と朝礼で共有している。	・些細なヒヤリハットについても記録し職員間で共有しています。。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0	・定期的に社内研修で行う。 ・長期休み等に研修を行っている。 ・研修はあるが、定期的に休息（クラスから離れる等）、休憩時間の確保（1 h 必ずとる）、基本担任で回さないといけないプレッシャー等、ストレスマネジメントが弱い。研修も今もストレスマネジメントもやっているが、現状足りていないと感じる。	・引き続き毎年の研修やストレスマネジメントに取り組めます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	11	0		・児童発達支援計画への記載については来年度から対応致します。